



放課後デイサービス
まごころライト

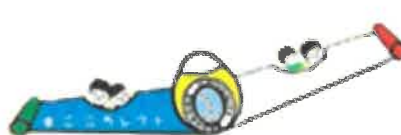
夏の貼り絵壁画づくり

長い長い夏休みも終り、大きな事故も無かったことにホッと一息のスタッフ一同です…

天気が悪くプールに入れなかった日は、みんなですり絵の壁画を作りました。紙をちぎる子、貼る子、役割分担をしてコツコツ仕上げてくれました。



夏休み朝早くから頑張ってくださったスタッフの皆様にも感謝です。お疲れ様でした…



放課後デイサービス
まごころレフト

読み聞かせ

大型紙芝居や絵本を使って、読み聞かせいつもはなかなか集中できない子も紙芝居には興味津々。スタッフも「声は変えたほうがいいですよ?」「もう少し感情込めた方がいいですよ?」と一回一回反省しながら、みんなが楽しめるように…と努力の日々。本や物語を読んで聞かせるということは、子育てにとっても大切なものです。読書に興味を持ってもらえると嬉しいですね…。



デイサービス通信



スクワット五十三次

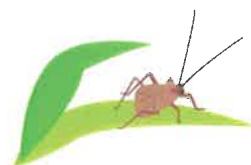
高齢者の足腰を鍛えるのに効果的な「スクワット（膝の曲げ伸ばし）」をデイサービスの開所から、毎回行ってきました。皆さんにとって、デイサービスで馴染みのある「スクワット」を自宅でも行って習慣化できるようにと、今月から『スクワット五十三次』を始めました。

昔の人は東海道五十三次の江戸日本橋から京都三条大橋を15日かけて歩いたそうです。この『スクワット五十三次』は朝・昼・夕と一日3回に分けてスクワットを行い、五十三次の宿場町のマス目を1回ずつ塗りつぶし進みます。忘れても構いません。楽しんで取り組めるようにと思います。

走破した方には賞状を差し上げます。ご家族も応援してあげてください!



元気にスクワット!



避難訓練で公園まで歩く

つぶやき

紫雲丸



現在は本州と四国との間に、3本も巨大橋が架けられて、列車や自動車の往来が便利になったが、それ以前は宇高連絡船よりなかった。受傷する前、私は出張で国鉄を乗り回して、毎月この連絡船を利用していた。

例えば四国行きの列車は、岡山の宇野港駅に着くと客車ごと連絡船の船腹に引き込まれて出航、高松港棧橋駅で列車に組み立てられ出発するのだ。

ところが昭和30年6月、とんだ大惨事故が起きた。高松を出航した連絡船「紫雲丸」が途中で急激に濃霧が深まり視界不良となり、下りの連絡船と衝突して沈没したのだ。

大半は救助されたが船腹の客車にいた乗客は脱出が困難で、修学旅行生を含む186名が犠牲となったのだ。

丁度その日、愛媛の八幡浜市での商用が手間取り慌てて駅へ駆けつけたが、予定した列車の出発直後で、やむなく次の大阪行きまで2時間程待つて乗って一宮へ帰ったのだが、その時初めてニュースで紫雲丸事故を知ってびっくり。もし所定の列車に乗っていたら私は間違いなくこの紫雲丸の船腹にいたはずで、乗り遅れたことで私は危うく命拾いしていたのだ。

商用を手間取らせて乗り遅れたのには一体どんな力が働いていたのだろうか。

ちょっとした事に運命左右され

澤田 清敏



ケアマネジャーの目

どう過ごしたいか?どう過ごせるか?

父が亡くなった年齢を越えて、自分の人生の終盤を考えるようになりました。どんな病気になるのか?介護が必要になるのか?自宅で過ごせるか?夫は?子供は?あてにできないし、自宅に来てくれるヘルパーさんはいなくなるのでは?デイサービスやホーム?有料ホームに入居する年金はいただけないでしょう。私に介護が必要となるまであと、10~30年後か わかりませんが、介護保険はどうなっているのか?本当に自宅で過ごせるのか?

超高齢化、少子高齢化など、数値ではいろいろ予想されているけど、身寄りのない独居の人は増え、地域も一宮市も状況は変わるでしょう。想像の限り考えても予想ができない。「こう過ごしたい」という選択肢のある未来になることを望みます。

~知っておきたいヘルパーの知識~

「敬老の日」を迎えられた皆様、ご長寿を心からお祝い申し上げます。

現在敬老の日は「9月の第3月曜日」(平成15年から)と定められています。それまでは曜日に関係なく「毎年9月15日」でした。その日になった理由は諸説あるようですが、聖徳太子が身寄りのない老人のための施設を設立した日が9月15日とされるのにちなみだと見られています。

祝日法では敬老の日を「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う」日とされています。何歳から祝うかはそれぞれの判断になりますが、強いて言えば、法令では65歳以上を「高齢者」としていますので、これがひとつの目安になるでしょう。プレゼントはお孫さんの名前でお祝いすると、とても喜んでくれますよ。